

Pal

～仲間



2023
Fall Edition
Vol.119

2023年(令和5年)9月30日発行

「第18回 にほんごで話そう!日本語スピーチ大会」を開催しました。……………1	
神奈川県立座間総合高等学校2年 メディナ カミラさん ……………2	
神奈川県立座間総合高等学校1年 メルカダル ジョシル エーロンさん ……………2	
2022年度の表彰者をご紹介します。、やまとワールドフェスタ2023 ……………3	
公益財団法人 大和市国際化協会からのお知らせ ……………4	

発行■ 公益財団法人 大和市国際化協会
〒242-0018 大和市深見西1-3-17
市民活動拠点ペテルギウス北館1階
TEL 046-265-6051 FAX 046-265-6052
URL : <http://www.yamato-kokusai.or.jp>
Email : pal@yamato-kokusai.or.jp

日本語で紡ぐ多文化共生の架け橋



(左上から時計回りに)①発表者全員での記念の一枚。②日本で出会った先生方への感謝の気持ちをスピーチした北パッカワディーさん(前列左)と15年前に来日してからの挑戦をお話してくれた包雪梅さん(前列右)。③座間総合高校のヴー・ディン・ヴィエツ・フォーさん(右)と憧れの先輩との2ショット。スピーチでは「大変なこともルーティン化して楽しめるプロセスにすることが大切」と教えてくれました。④来日して約1年のプロコピシィン・ナジヤさんは、日本に来てからの生活の様子と母国ウクライナを紹介。ウクライナの国旗と共に息子さんもステージに登場してくれました。⑤座間総合高校からは、3名の発表者と2名の司会者がスピーチ大会に参加。先生方やご家族など多くの方が応援に。⑥何事も前向きに捉え、今を大切にすることの重要性を語ってくれた趙麗さん(右)。日本語の先生と満点の笑顔で。

「第18回 にほんごで話そう!日本語スピーチ大会」を開催しました。

7月9日、桜丘学習センターで18回目となる日本語スピーチ大会を開催しました。この大会では、フィリピン、中国、ベトナム、ウクライナ、タイ、ペルーという異なる国々にルーツを持つ高校生3名、社会人4名、合計7名の参加者が日本にきてからの経験や努力、支えてくれた人々への感謝などをテーマに、日本語でのスピーチを披露しました。今年は会場内の人数制限がなくなったことから、発表者の家族や友達、学校の先生、日本語ボランティアなど様々な人が応援に駆け付け、会場には終始和やかな雰囲気が広がっていました。

来日して1年ほどの方から長く日本に住んでいる方まで、多様なバックグラウンドを持つ皆さんが自らの視点で、日本語で考えを共有してくれるこのスピーチ大会は、聞き手にとって新たに視野が広がる場です。ネルソン・マンデラ元南アフリカ大統領の言葉に、「相手が理解できる言葉で話しかければ、それは相手の頭に届く。相手の母国語で話しかければ、それは相手の心に届く。」というものがあります。発表者の皆さんが今まで勉強してきた日本語が架け橋となって、自身の考えや今までの経験を、異なる文化やバックグラウンドを持つ観客の心に届けます。異国での生活の中で何を大切に生きてきたのか、何が大変でどう乗り越えてきたのか、それを日本で暮らす外国人の皆さんから直接聞くことは、共感や敬意を生み、多文化共生のための大事な一歩に繋がるはず。そして何より日本での喜びや挑戦、成長を伝える個々のストーリーに聞いている私たちも元気をもらいました。

次のページでは一部のスピーチ原稿をご紹介します。また、横のQRコードからスピーチの動画を見ることができます。ぜひ一度、地域に住む外国人市民の声に、耳を傾けてください。

発表者全員の
スピーチは
こちらから



YouTube
でも



第18回 にほんごで話そう！日本語スピーチ大会

公益財団法人大和市長国際化協会
理事長賞受賞

『13歳のカミラへ』

神奈川県立座間総合高等学校 2年
メディナ カミラさん

私はこれまで、自分の人生がほかの人と比べてそれほど違っているとは思っていませんでしたが、このスピーチで何を話そうかと考えているうちに、日本に来る前と後で私の生活がどれほど変化したか、その経験がどれほど特別であるかということに気づきました。今日はその特別な私の人生について、お話しします。

私はペルーのリマという町に住んでいました。幼い頃から両親が日本で働いていたので、私は祖父母と叔母と暮らしていました。13歳の時、自分の生活を変えてみたいと思い、日本へ行きたいと言いました。日本の生活に興味があったし、両親のことをもっと知りたかったからです。

アニメやドラマで見る日本の高校生は楽しそうでした。友達カフェに行き、おしゃべりして、カラオケして…。本当にそうなのかな？制服もかわいいし、自転車で通学している姿にもあこがれました。ペルーは治安が悪いので、一人で町を歩いたり、子どもだけで遊ぶこともありません。いつもそばに大人がいました。だから日本の生活が、とても自由に見えました。私が日本に住みたいと言ったら、ペルーの家族はとても心配しました。言語も文化も、まったく違うから大丈夫かな？と。でも行くと決まった時、「いつもサポートするよ。がんばって！」と応援してくれました。

日本へ来て、私はすぐ中学3年生に編入しました。ことばもわからない、知っている人もいない、ゼロからのスタート。初めて中学校に行った日のことはよく覚えています。夏休みが終わって、最初の日でした。学校へ行く車の中では、緊張して声が出ませんでした。車から降りると、みんなが「外国人かな？」という目で私を見ました。それから、職員室に行って、自己紹介をしました。「はじめまして。私はメディナカミラです。ペルーから来ました」ペルーで練習していた自己紹介。初めて日本人に話した日本語です。先生たちが、たくさん拍手をし

てくれて、少し自信ができました。教室ではみんなが話していることが、全くわかりませんでした。でも、自由時間に何人かの生徒が英語で話しかけてくれました。「日本語わからなくてもいいよ。気にしないで話そう。」「バイバイはスペイン語で何?」「オラ」「またねは?」少し距離が近づいたような気がしました。先生たちも優しくかったです。理科の先生は、私のためにテストを翻訳機でスペイン語に訳してくれました。それなのに、答えがわからなくて、何も書かずに出した時は、恥ずかしかったです。

座間総合高校に合格しても、勉強について行けるかどうか、心配でした。でも入ったらとても楽しいところでした。とてもいいです。いろいろな国の人がいて、いろいろな文化が普通にあって、インターナショナルな雰囲気がおもしろいです。

日本へ来てから、新しい経験をし、たくさんの挑戦をしました。つらくて、どうすればいいかわからず、「ペルーにいたらどうなっていたらろう?」と思った瞬間もありました。でも実際には、それよりもずっと幸せな瞬間、ここで生きていくと決めた瞬間もたくさんありました。日本で過ごしたわずか1年半の間で、私の生活は大きく変わりました。今、このかわいい制服を着て、自転車通学をしています。休みの日は友だちと東京や横浜に出かけて、クレープを食べたり、マックに入ったり…。たまに友だちが家にお泊りに来ます。友だちは父が作るセビッチェが大好き!と言います。

日本に来て住むことを決めた13歳のカミラに、これから経験するすべてのことや会う人々について話したら、彼女はきっとそれを信じて、ただの夢だと思うでしょう。過去のカミラに言えることは、どんな小さいことでも、すべての瞬間を楽しんで、新しいことに挑戦し、チャンスを逃さないように、できる限り努力して、と言いたいです。そして今、こうして大勢の人の前で日本語で話しているあなたを見てほしいです。自分にできるとは思っていませんでした。過去や未来だけに焦点を当てず、今を楽しみ、新しいことを学びながら生きてください。カミラ、これからも幸せになるために頑張ってください。

大和市長 特別賞受賞

『情熱』

神奈川県立座間総合高等学校 1年
メルカダル ジョシル エーロンさん

みなさんは、どんなことに情熱を持っていますか？今日は私の情熱、Passionについてお話ししたいと思います。

私は去年の7月2日にフィリピンから来ました。日本へ来たとき、ひらがなもカタカナも、もちろん漢字もわかりませんでした。そんな私が、日本の高校生になるために、次の日から猛勉強を始めたのです。

高校入試まで、あと7か月しかありませんでした。まず、私はいくつかの日本語教室に通うことにしました。一つ目は、鶴間の日本語教室。ここは毎週日曜日にあります。二つ目は相模大野にあるCEMLA。ここは毎週土曜日です。三つ目に、大和国際化協会へ行きました。ここではマンツーマンで教えてくれる先生を、自分で探します。私は幸運にも、すぐに先生が見つかりました。名前は、藤村先生です。

私は先生に、「来年、日本の高校を受験したい」と言いました。すると先生は、「12月に日本語能力試験のN3を受けなさい」と言いました。そして、「そのためには、まずこの赤い本を、1か月で終わらせなければなりません」と言いました。この本は、初級の教科書で、普通は150時間かけて勉強します。先生の授業は、1回2時間で週3回ですから、1か月勉強しても、24時間です。だから、ものすごいスピードで進まなければなりません。でも、私には、高校に入りたいという情熱があった

ので、がんばろうと思いました。

言葉、文型、漢字…夕方5時に授業が終わるといつも疲れていました。家に帰って、一人でご飯を作って、食べて、それから、大量の宿題をやらなければなりません。漢字の練習もあります。毎日頭が爆発しそうでした。なかなか覚えられず、もうあきらめようかと思ったこともありましたが、でも、私のために一生懸命教えてくださる先生の努力を無駄にするわけにはいきません。だから私も必死でがんばりました。先生の情熱が、私の限界を広げたのです。そして12月、N3の試験を受けました。しかし、その結果は…不合格でした。合格まであと9点。

それからは、次の目標である高校入試に情熱を向けました。そして今年の3月、座間総合高校に合格することができました。先生方のおかげで、たくさんのことを学ぶことができて、とても感謝しています。

高校での生活は、新しい出会いがあり、毎日が楽しいです。ところがある日、私のプライベートなことで、とてもショックな出来事がありました。その時は本当に生きることをやめようかとまで考えました。その私が今、こうして皆さんの前で、私の人生について、話しています。もっと日本語を勉強して、N1に合格したい。高校卒業したら、大学に進学して、情報技術を学びたいという気持ちを思い出したからです。

これまでがつらいとき、いつも情熱が私を助けてくれました。私はこれからも、多くのことを経験し、難しいと思えることにも、情熱をもって挑戦していきたいです。

2022年度の表彰者をご紹介します。

長年の貢献に心から感謝申し上げます。

国際化協会では、国際化協会の発展に功労のあった方や地域の国際化推進に貢献のあった方を年に一度表彰し、その功績を称えています。

●一般表彰

多年にわたり日本語・学習支援ボランティアとして地域の国際化進展のため多大な貢献をされた方

山本立美さん、戸邊正博さん、望月直子さん



山本立美さん



戸邊正博さん



望月直子さん

多年にわたり通訳・翻訳ボランティアとして地域の国際化進展のため多大な貢献をされた方

上田タニさん（スペイン語・英語・ポルトガル語）、荒谷留架さん（英語）、高橋シルビア千恵美さん（ポルトガル語）、野中甲枝さん（中国語）、大本真諭子さん（英語）



上田タニさん



荒谷留架さん



高橋シルビア千恵美さん



野中甲枝さん



大本真諭子さん

多年にわたり協力指定店として地域の国際化進展のため多大な貢献をされた方

韓国料理・韓国居酒屋
土の村



土の村

やまと フェスタ

2023

10/22 日 10:00~15:00
大和駅東側（やまと広場・図書館の道）
「やまと世界料理の屋台村」が本年から生まれ変わりました！

主催：大和市（文化スポーツ部 国際・男女共同参画課） 企画運営：公益財団法人大和市民国際化協会

●屋台

料理ジャンル	店名	提供メニュー
フィリピン	マムシートゥロトゥロ	ルンピア
タイ	タイレストラン リナ	タイラーメン
ペルー	K'ASWA	BBQチキン&チョリソー
ブラジル	MAIS	シュラスコ串&フランクセット
ネパール	ハーブストーリー	モモ
ブラジル	リガール	シュラスコ串
フィリピン	モバイル1	フィリピンBBQプレート
ベトナム	ベトナム料理カフェ aLo aLo	フォー&ブン

●ステージ

時間	内容	出演者
10:20	ビッグバンド・ジャズ演奏	ビッグバンドやまちゃん's
11:05	グアム・チャモロダンス	グマ ファマグウン タノ ザニ タシ
11:35	パラグアイダンス	Grupo Danza ARARESA
12:15	エイサー	琉球國祭り太鼓
12:45	ポップス歌唱	シマ ジョージ
13:05	マリネラ舞踊	Cultural Quinto Suyo (協力:日本ペルー共生協会(AJAPE))
13:35	フラダンス	Lino Lani
14:00	ポップス歌唱	ホセ モラレス
14:20	フラメンコダンス	トロバドールス

●バザール

出店団体	出品
Dale ! Dale ! コクサイ	雑貨(南米)
インパヤ	雑貨(エクアドル)
アマゾンカムカムーヨコハマ(NPO法人JECK)	雑貨(南米)
MAKI ARTS	雑貨(南米)
コンドル パサ	雑貨(南米)
カトマンズマート	食材(ネパール等)
NPOリンク トゥ ミャンマー	食品・雑貨(ミャンマー)
WEショップ やまと	雑貨

公益財団法人 大和市国際化協会からのお知らせ

9:00~16:00
ベトナム語10:00~13:00
タガログ語10:00~13:00
中国語9:00~17:00
スペイン語

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

やまとワールドフェスタ
(3ページ)外国人ママの
ひろば外国語版
情報紙発行ピクアツ! 日本語教授法
ブラッシュアップ講座

			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

ピクアツ! 防災フェスタ

外国人ママの
ひろば

					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

ピクアツ! ハッピーフェスタ

外国人ママの
ひろばピクアツ! 通訳翻訳ボランティア
研修会 第1回Pal Vol.120
発行

土曜開庁日 【毎週火曜日】 かんたん日本語教室

ピクアツ!

①開催日時 ②開催場所 ③費用 ④内容 ⑤講師
⑥対象 ⑦定員 詳しくは、国際化協会のホームページ
(<http://www.yamato-kokusai.or.jp/>)でご確認ください。お
問い合わせ、お申込みは、電話、窓口、Fax、Emailで受け付けます。

注意

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策について

現在、利用者のマスクの使用は任意としています。入室時の記録簿の記入、使用後の机・椅子の清掃は引き続き実施していますのでご協力ください。また、飲食をする場合、事前に申告し感染対策を徹底してください。

日本語教授法ブラッシュアップ講座～音声を教える

日本語を勉強する外国人の日本語の発音やイントネーション、リズム、アクセントなどは、学習者の耳が慣れてくれば、聞いているだけでそのうちに日本人のものに近づいていくのでしょうか?それとも積極的に指導したほうが良いのでしょうか?そして週1回のレッスンの中で教えるなら、どのような方法があるのでしょうか?

今回は、「音声を教える(ひつじ書房)」の著者を講師にお招きし、音声指導について教えていただきます。

①10月28日 土曜日 午後2時から4時 ②オンライン(ZOOM) ③無料 ④ボランティアが授業の中に日本語の「音声指導」を取り入れる際の基礎を学ぶ ⑤国際交流基金日本語国際センター専任講師 磯村一弘先生 ⑥地域で日本語を教えている方、教えてみたいと思っている方 ⑦30名

防災フェスタ 参加ボランティア募集

このフェスタは災害への備えを身近に感じてもらうために実施するもので、当日外国人市民と一緒に各ブースを回るボランティアを募集します。

①11月18日 土曜日 午前9時～正午 ②引地台公園令和広場 ④やさしい日本語を使って外国人市民と一緒にブースを回る ⑥どなたでも

通訳翻訳ボランティア研修会

日頃、行政や外国人市民からの通訳や翻訳依頼にご協力をいただいている登録ボランティアを対象に研修会を開催いたします。第1回、第3回は通訳研修会、第2回は翻訳研修会です。

①第1回：12月23日 土曜日 午前10時から11時30分まで
第2回：1月27日 土曜日 午前10時から11時30分まで
第3回：2月10日 土曜日 午前10時から11時30分まで
②ベテルギウス北館1階会議室 ③無料 ④第1回：学校現場での通訳の事例共有、用語の学習など 第2回：未定
第3回：医療通訳現場に向けたロールプレイ ⑤第1回、第3回：認定NPO法人多言語社会リソースかながわ(MICかながわ) 講師 第2回：MRI語学教育センター カナダ出身 キース ブラディ氏 ⑥第1回 全言語の登録ボランティア、第2回、第3回：英語の登録ボランティア ⑦各回20名程度 国際化協会に電話、Email、または直接お申し込みください。10月23日(月)より先着順に受け付けます。定員に余裕がある場合は、登録ボランティアに限らず一般市民の参加も受け付けます。

ハッピーフェスタ

ベテルギウスまつりの一環で行うイベントです。

①12月17日 日曜日 午前10時から午後1時 ②ベテルギウス北館 ④子ども向けワークショップ ⑥どなたでも

大和市プレスクール

小学校入学を見据えて日本語などを学習する未就学児向けの教室です。

①シリウス15回コース(1月10日～3月13日までの水曜、木曜)、IKOZA15回コース(1月11日～3月22日までの木曜、金曜)いずれも午後2時30分から4時30分 ⑥未就学児

公益財団法人大和市国際化協会

〒242-0018

神奈川県大和市深見西1-3-17

市民活動拠点ベテルギウス北館1階

Tel: 046-265-6051

Fax: 046-265-6052

Email: pal@yamato-kokusai.or.jp

<http://www.yamato-kokusai.or.jp>

受付時間 月・水・金 第1、3土曜日

8:30～17:00

火・木 8:30～20:15

